

図161～170に示している。

梅毒は男性については、全数調査と発生動向調査では同じ傾向である。女性については、全数調査と発生動向調査の動きに若干の乖離がみられる。淋菌感染症は、男性については、全数調査、発生動向調査ともに2009年から増加傾向にある。女性については、全数調査は2009年からやや増加傾向にあるが、発生動向調査は2008年から横ばいである。咽頭淋菌感染症は、男性については、2009年から横ばい傾向、女性については2009年からやや増加傾向にあるが、値が小さいため留意が必要である。非淋菌性尿道炎は、男性については、2008年から減少傾向にあったが2011年にやや増加した。女性については、年ごとに増減を繰り返しているが、値が小さいため留意が必要である。性器ヘルペスウイルス感染症(初発あるいは初感染)は、男性については、全数調査では2007年から2009年にかけて減少傾向にあったが2010年から増加に転じた。発生動向調査もほぼ同様の傾向にある。女性については、全数調査と発生動向調査ともに2009年からやや増加傾向にある。性器ヘルペスウイルス感染症(再発)は、男性については、

2007年から2009年にかけては横ばい傾向が続いたものの、2010年から減少傾向にある。女性については、2009年までは微増であったが、2010年から減少に転じた。

尖圭コンジローマは、女性において岐阜県の一医療機関において、2007～2009年は各年15件前後であったが、2010年は249件、2011年は128件2007～2009年と2010～2011年で大幅に異なる件数の報告があった。これは、報告としての誤りはなく事実であることが確認されている。そのために、岐阜県のみならず7県計においても、2010年ほどではないが2011年も高い水準となっている。男性については、全数調査は2009年からやや減少傾向にある。発生動向調査は多少の増減はあるものの2007年から2011年にかけてほぼ横ばいである。性器クラミジア感染症(発症者)は、男性については、全数調査は2009年から2010年にかけて減少したが、2011年に増加に転じた。発生動向調査は年々増加傾向にある。女性については、全数調査は年ごとに増減を繰り返しているが、発生動向調査は2009年以降やや増加している。性器クラミジア感染症(妊婦健診)は男性については、数値も小さく

年ごとに増減を繰り返している。女性については、2009年までは減少傾向にあったが、2010年に増加に転じた。咽頭クラミジア感染症は、男性については、2010年のみ1例の報告があった。女性については、2009年までは増加しており、その後は横ばいであるが、値が小さいため留意が必要である。

D. 考察

岐阜県の一医療機関における女性の尖圭コンジローマが2010,2011年に突出しており、それが岐阜県全体においても、また7県合計においても引っ張っている。この報告については、問い合わせをして事実であることが確認されているために、岐阜県においては尖圭コンジローマの流行が女性においてあり、それが2011年も続いていると解釈される。これは発生動向調査では全く捉えられていない。少なくとも現在の定点では、今回のような明らかな大きな流行に対しても探知できない限界を露呈していると言えよう。

E. 結論

発生動向と本研究の調査の傾向が最も一

致していたのは性器クラミジア感染症で、次いで性器ヘルペスウイルス感染症であった。

尖圭コンジローマに関しては、発生動向調査の定点は発生状況を全く捉えていなかった。発生動向調査はそもそも流行探知というよりもむしろトレンド把握が目的であるが、トレンドに大きな影響を与えるような大きな流行も捉えておらず、感染症対策に有用であるとは言い難い。

参考文献

- [1] 熊本悦明, 塚本泰司, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 高杉豊, 守殿貞夫, 碓井亞, 香川征, 内藤誠二, 簗輪眞澄, 谷畑健生, 澤畑一樹. 日本における性感染症(STD)サーベイランス—2001年度調査報告. 日本性感染症会誌 2002 ; 13: 147-67.
- [2] 大日康史・岡部信彦, 「性感染症の患者数全数把握の試み」, 平成22年度厚生労働科学研究費(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)「性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」分担報告書, 2011.

F. 健康危険情報

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

G. 論文発表

特になし

特になし

表1 回収数および回収率(2007-2011)

年別 集計医療機関数

	2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
兵庫県	492	(53.6%)	525	(59.6%)	586	(74.4%)	601	(76.3%)	560	(80.9%)
千葉県	331	(71.1%)	400	(76.5%)	512	(65.1%)	321	(40.8%)	307	(62.1%)
岐阜県	165	(47.7%)	176	(53.7%)	170	(49.3%)	206	(59.7%)	225	(65.2%)
石川県	101	(44.0%)	176	(92.9%)	163	(76.9%)	168	(79.3%)	185	(86.4%)
茨城県	434	(69.6%)	354	(58.7%)	322	-	324	-	304	-
岩手県	181	(79.8%)	155	(75.0%)	141	(69.3%)	149	(73.2%)	128	(64.1%)
徳島県	121	(74.2%)	115	(72.8%)	111	(74.2%)	88	(58.8%)	78	(55.7%)

注:回収率は、各県からの報告のものや、総医療機関数が不明な場合は仮定の数字(前年の総医療機関数等)で算出してのものもある

図1 梅毒 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

7県 計

※全体
※人口10万人あたり

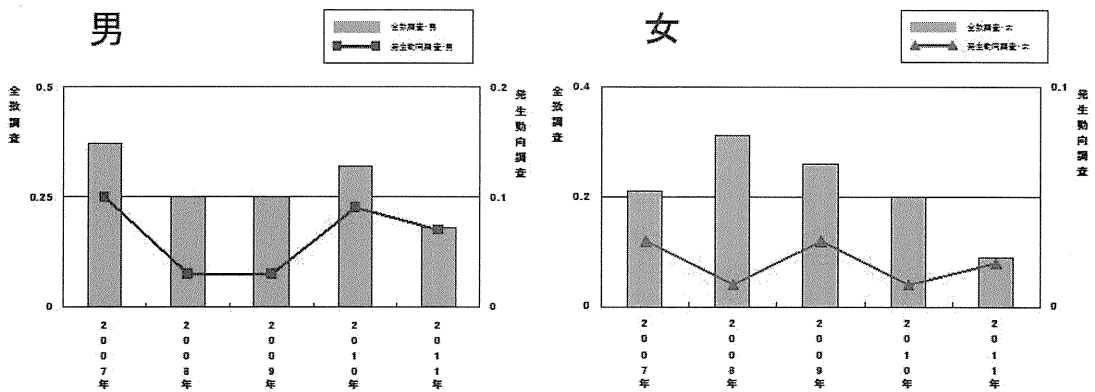


図2 淋菌感染症 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

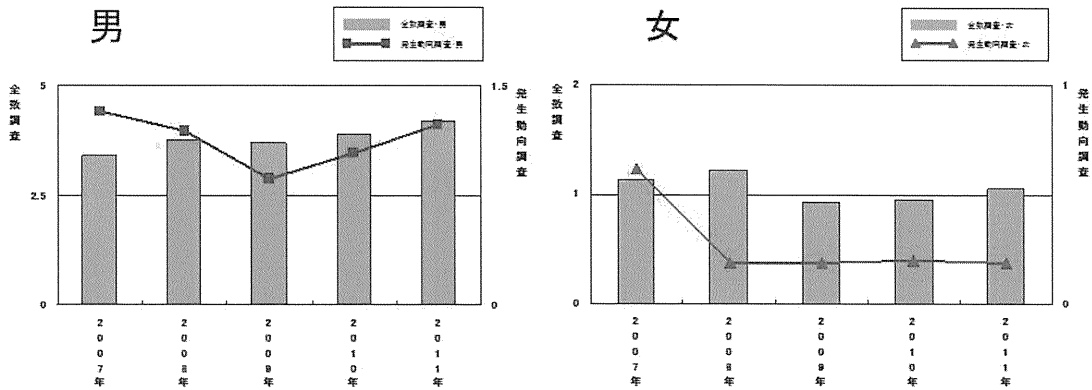


図3 咽頭淋菌感染症 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

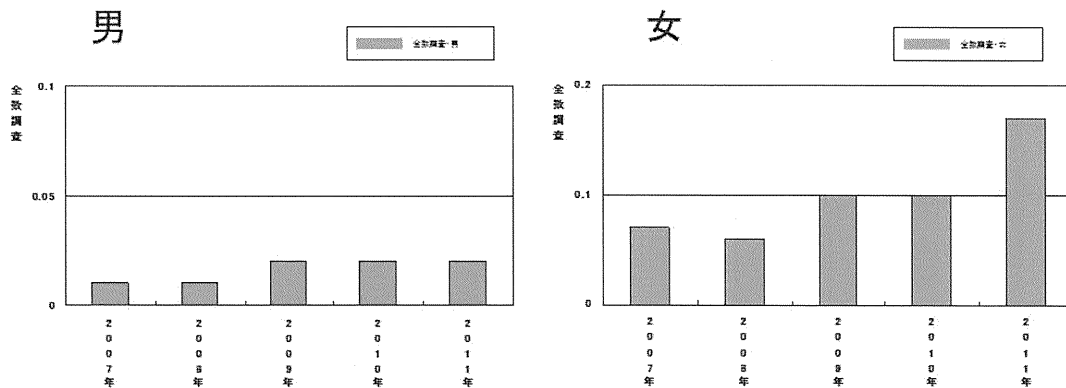


図4 非淋菌性尿道炎 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

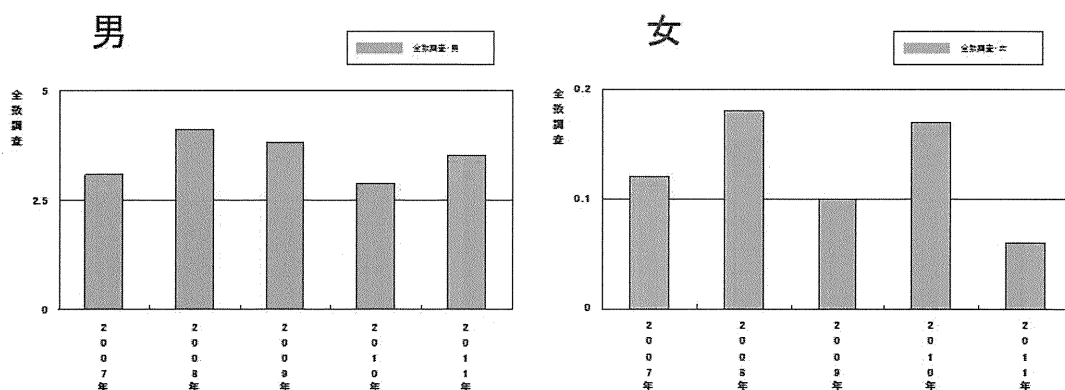


図5 性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは初感染）7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

7県計

※全体
※人口10万人あたり

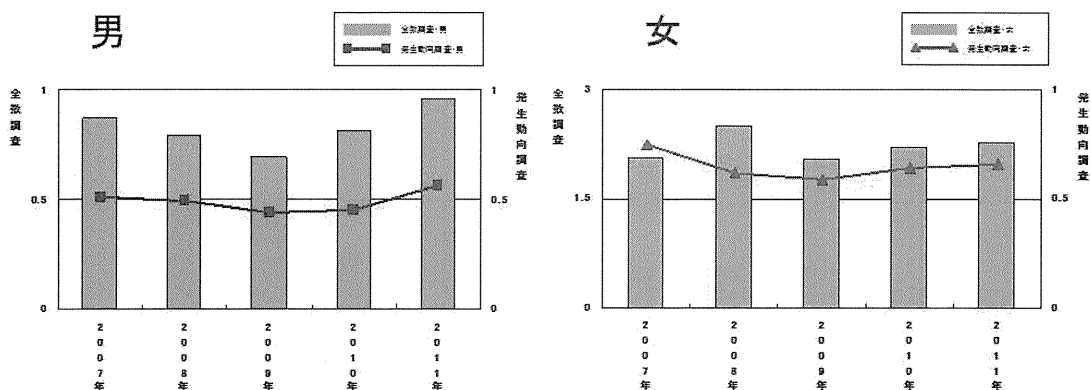


図6 性器ヘルペスウイルス感染症(再発) 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

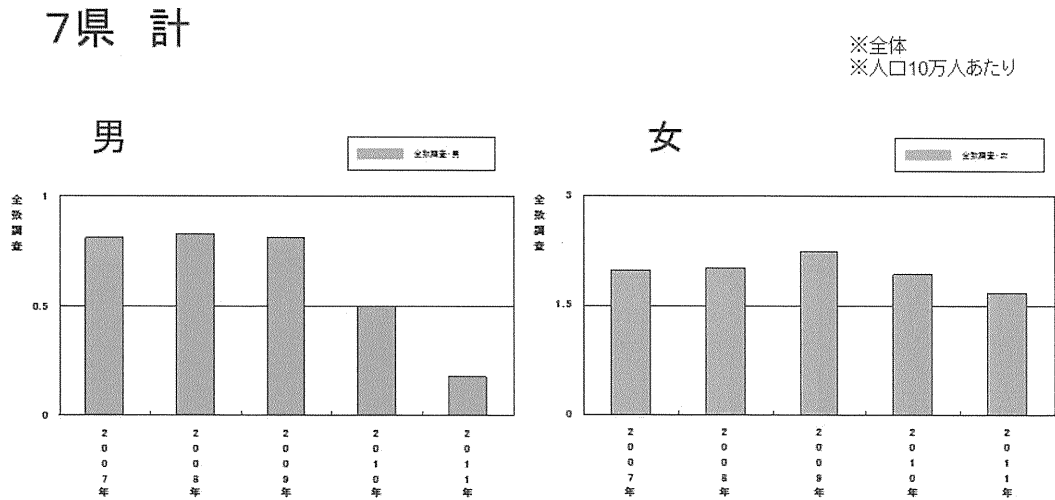
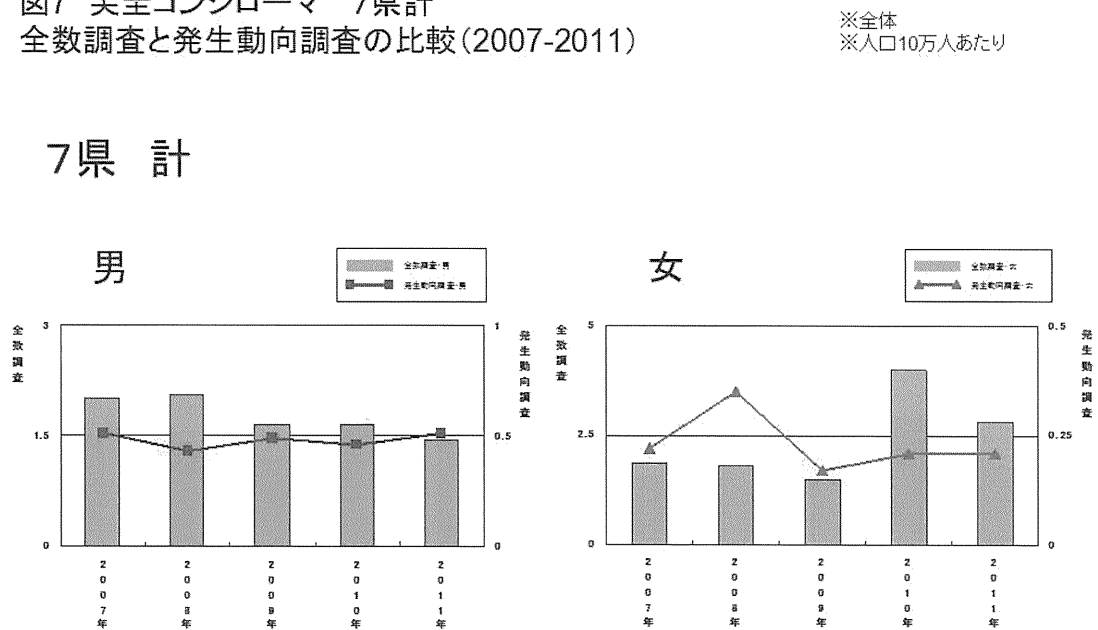


図7 尖圭コンジローマ 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)



注:
岐阜県の一医療機関において、2010年に2007～2009年とは大幅に異なる件数の報告があったが、2011年の報告数は2010年の約半数であった(女性の尖圭コンジローマのみ)

図8 性器クラミジア感染症(発症者) 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

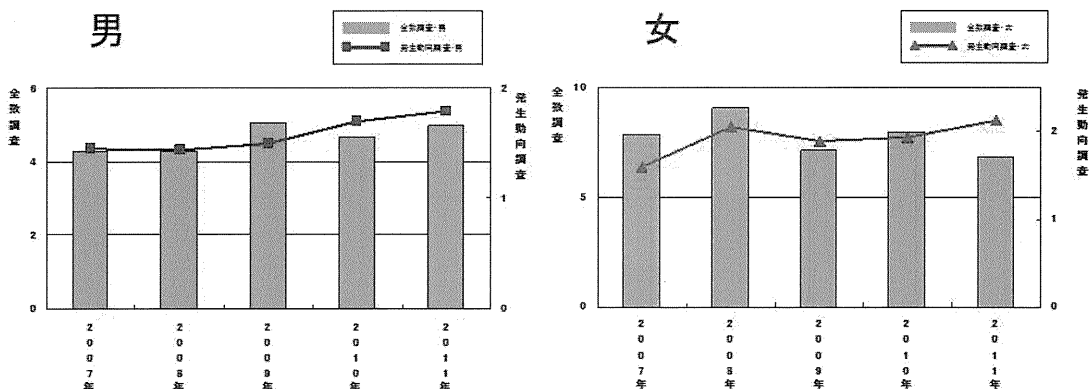


図9 性器クラミジア感染症(妊婦健診) 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

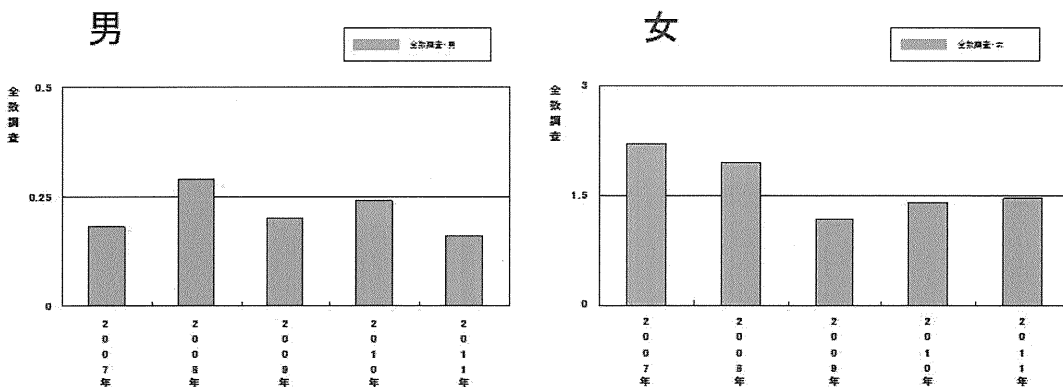


図10 咽頭クラミジア感染症 7県計
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

7県計

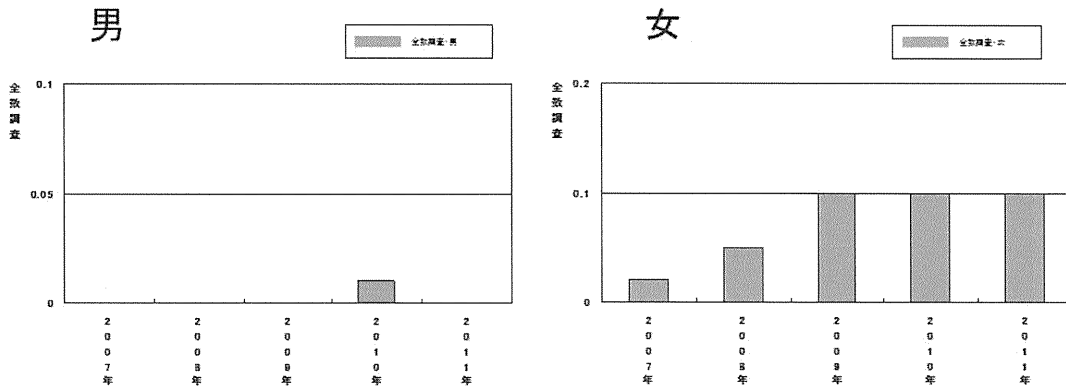


図11 梅毒 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

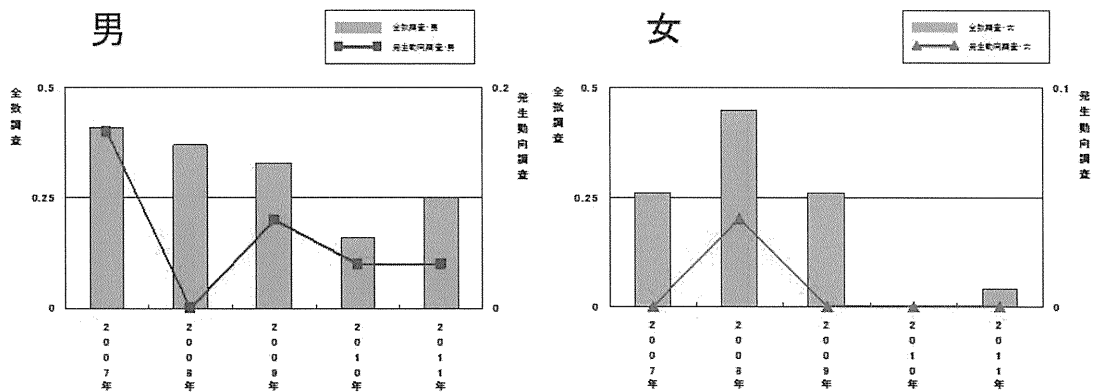


図12 淋菌感染症 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

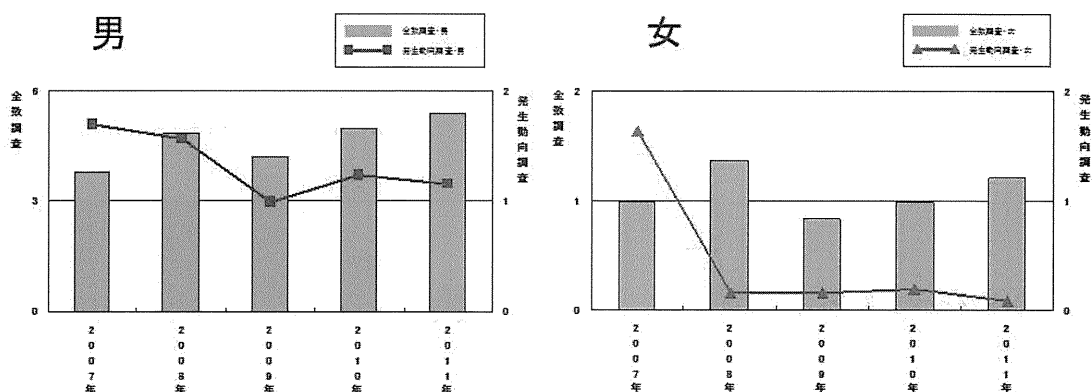


図13 咽頭淋菌感染症 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

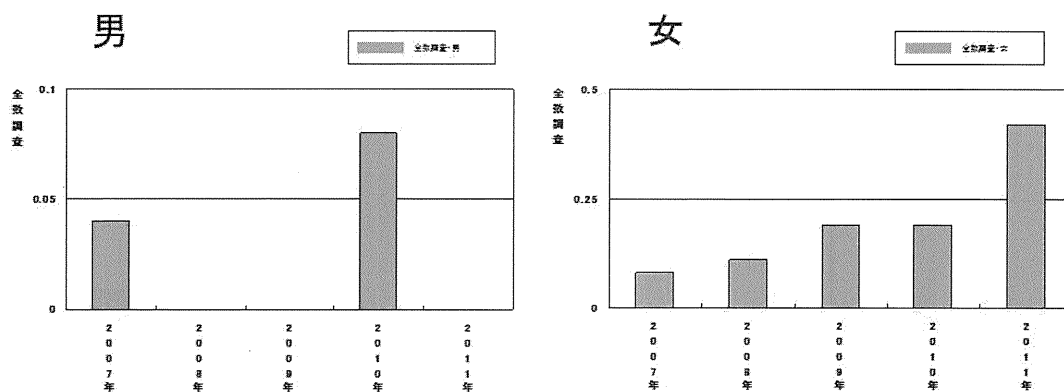


図14 非淋菌性尿道炎 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

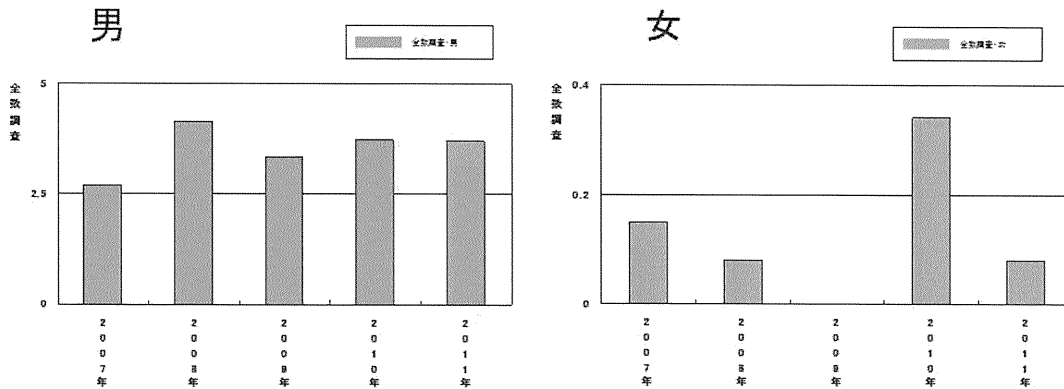


図15 性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは初感染） 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

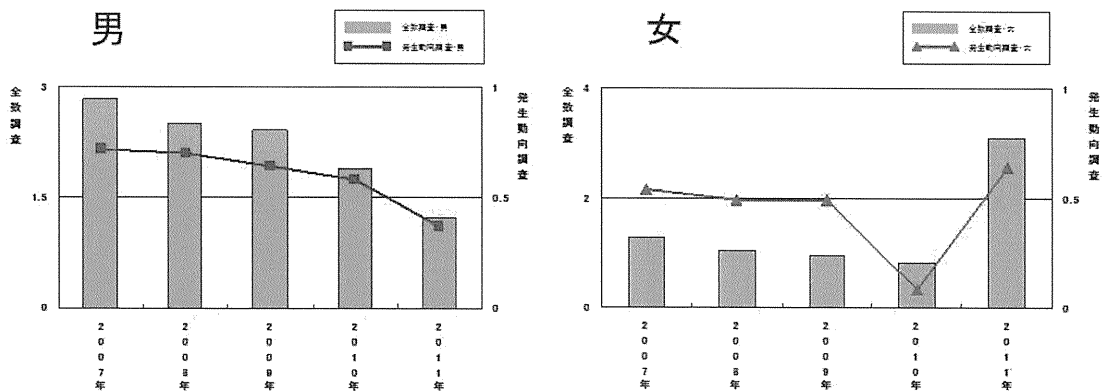


図16 性器ヘルペスウイルス感染症(再発) 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

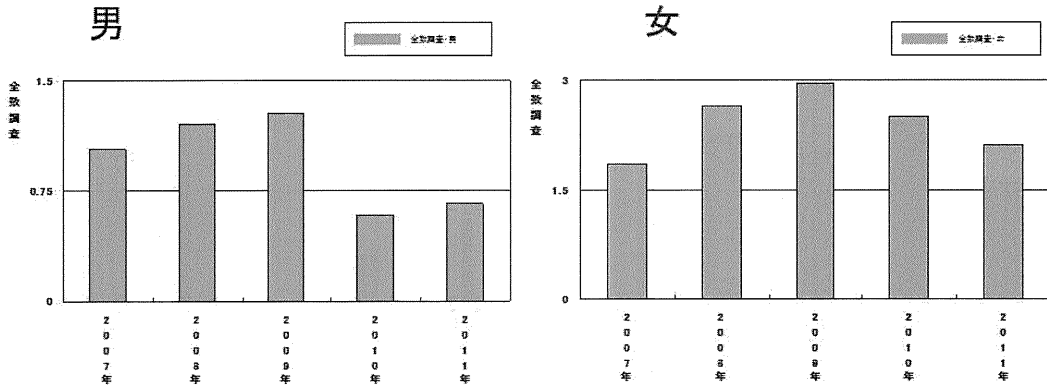


図17 尖圭コンジローマ 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

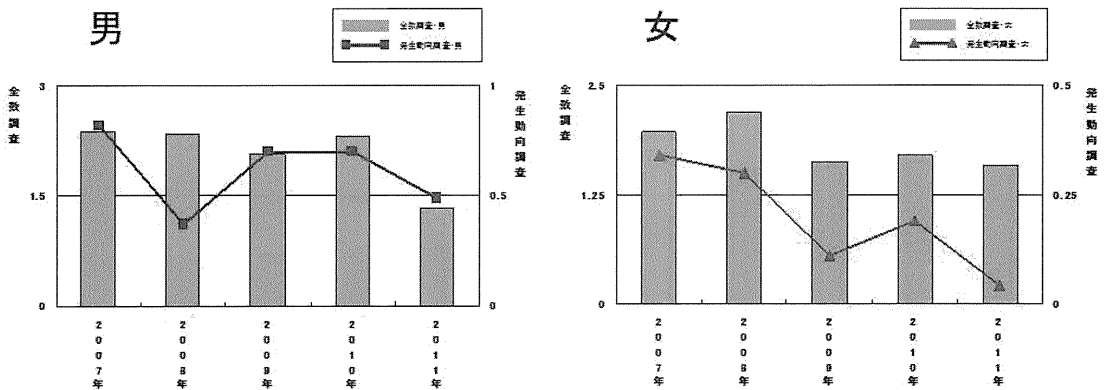


図18 性器クラミジア感染症(発症者)兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

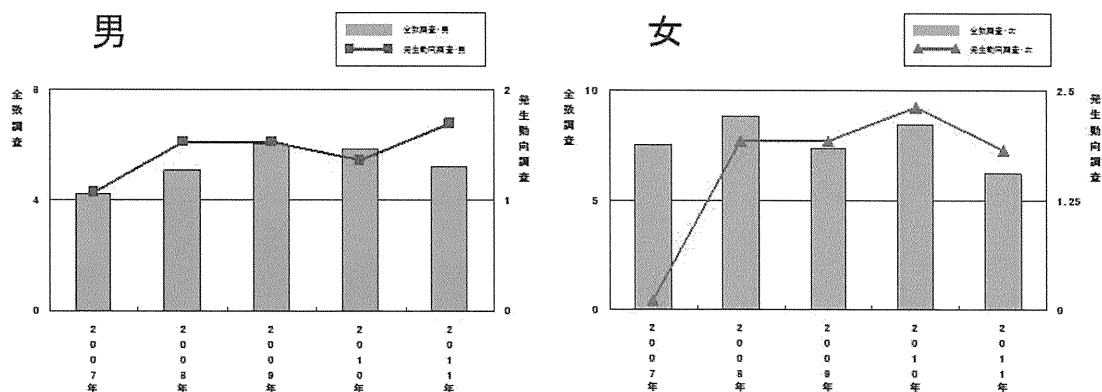


図19 性器クラミジア感染症(妊婦健診)兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

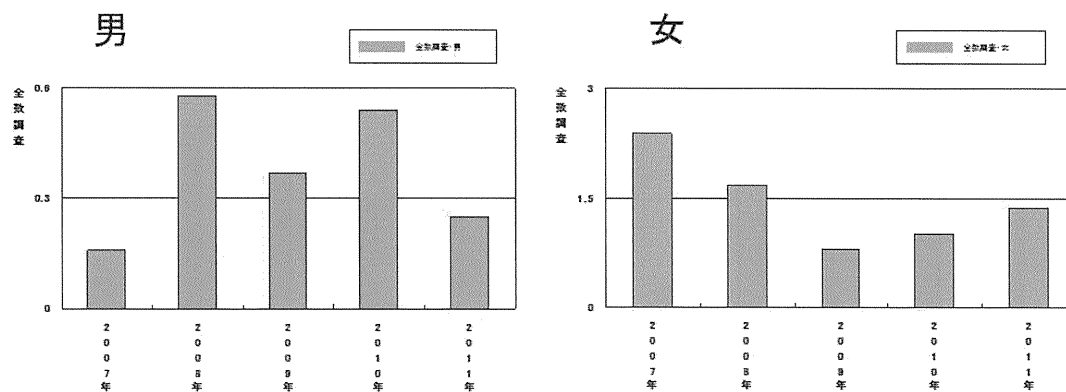


図20 咽頭クラミジア感染症 兵庫県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

兵庫県

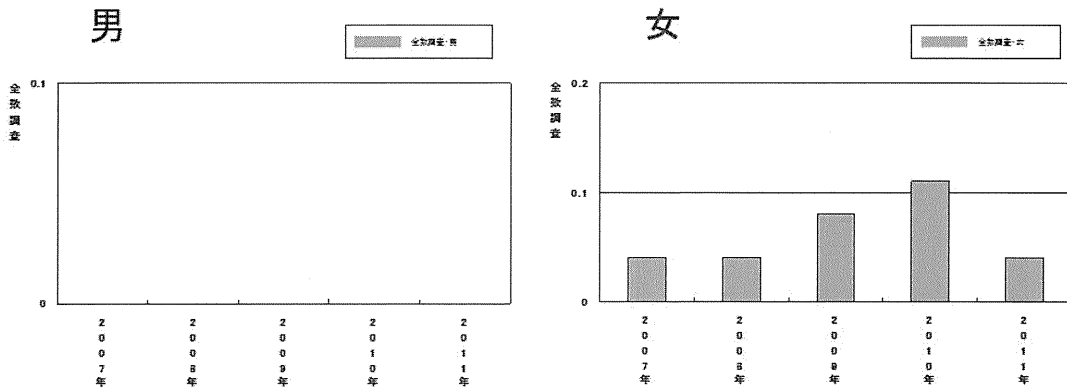


図21 梅毒 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

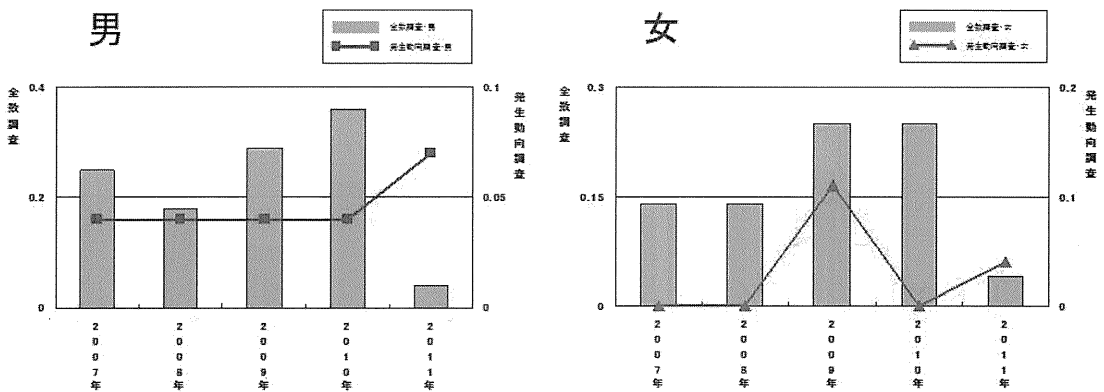


図22 淋菌感染症 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

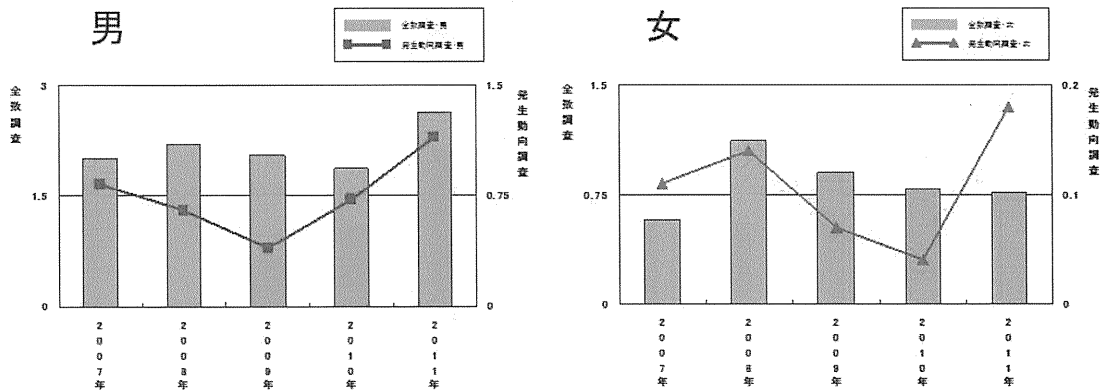


図23 咽頭淋菌感染症 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

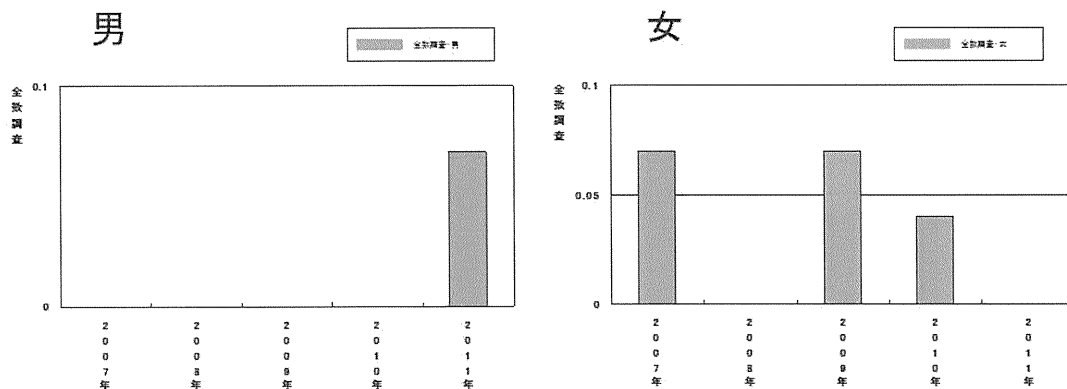


図24 非淋菌性尿道炎 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

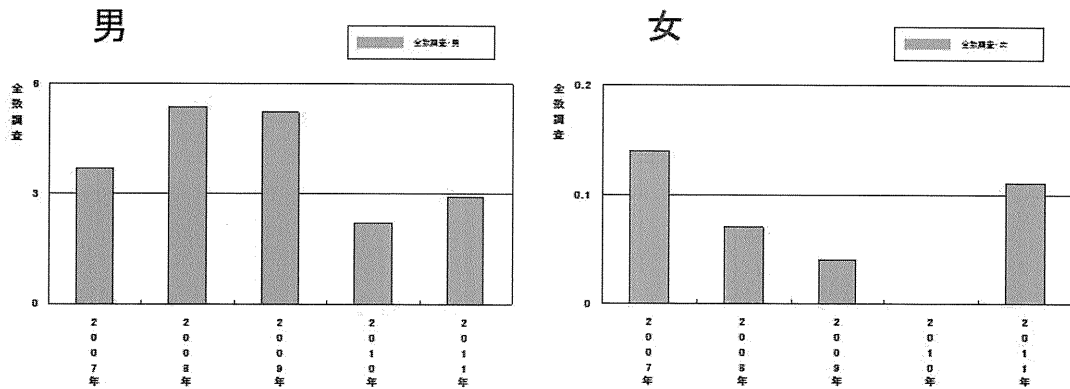


図25 性器ヘルペスウイルス感染症(初発あるいは初感染) 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

千葉県

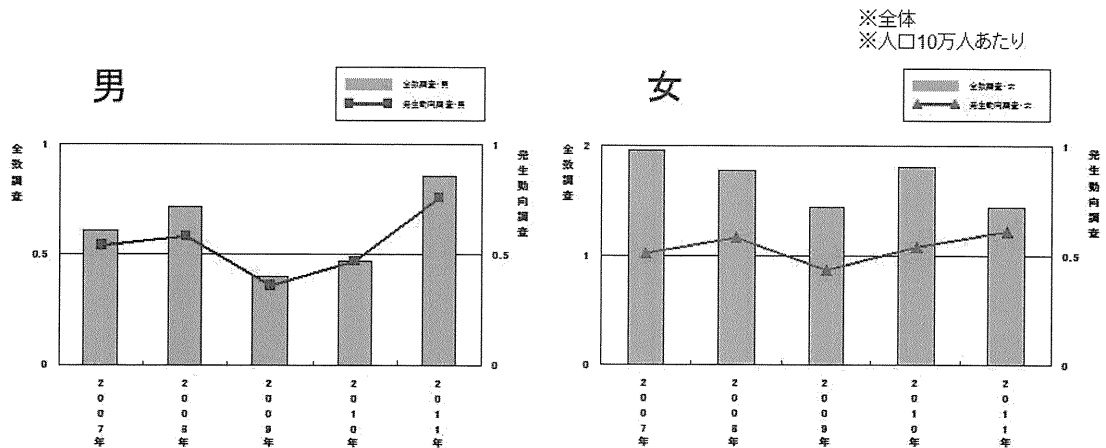


図26 性器ヘルペスウイルス感染症(再発) 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

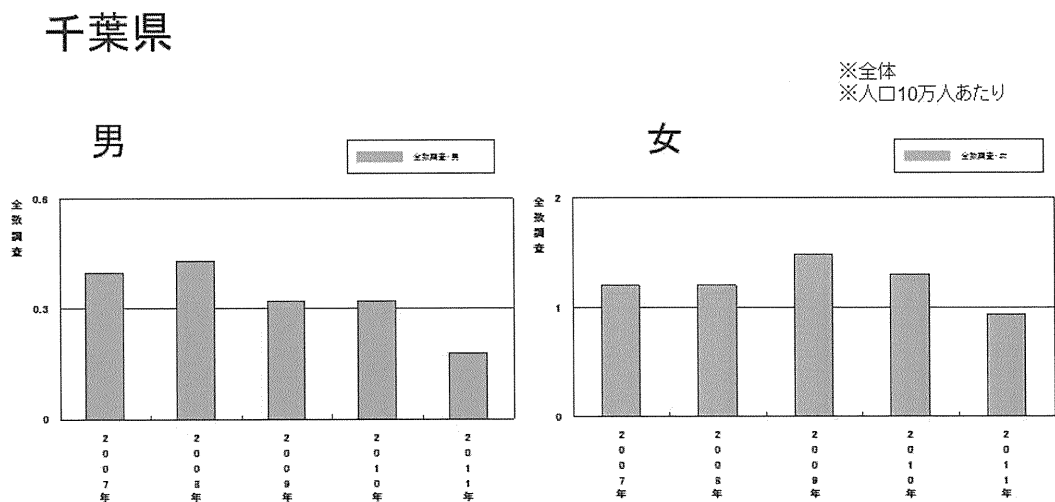


図27 尖圭コンジローマ 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

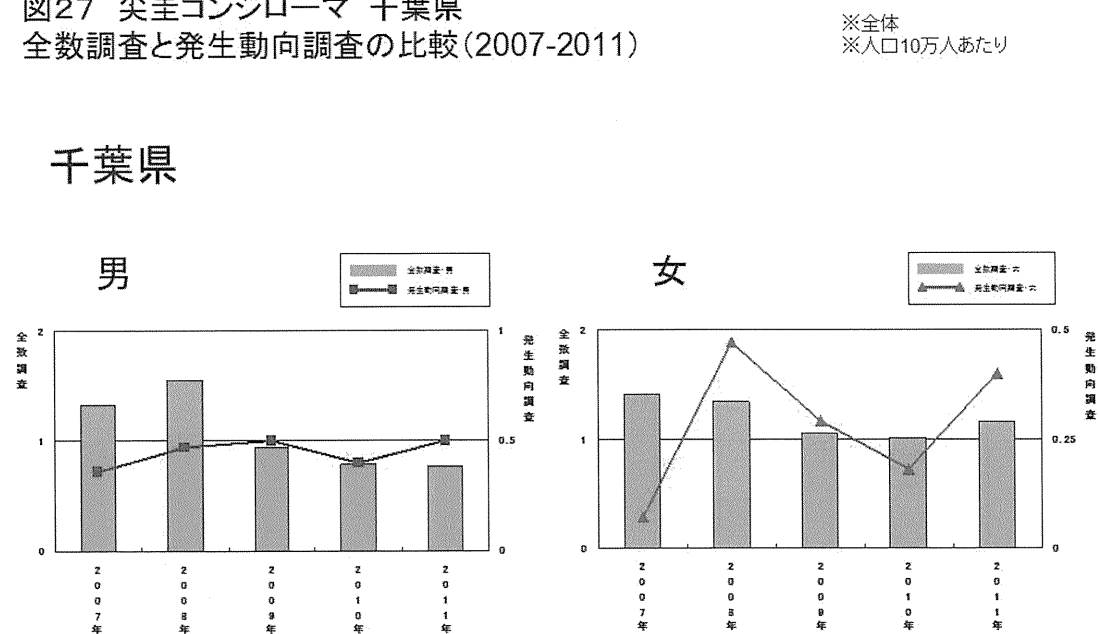


図28 性器クラミジア感染症(発症者)千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

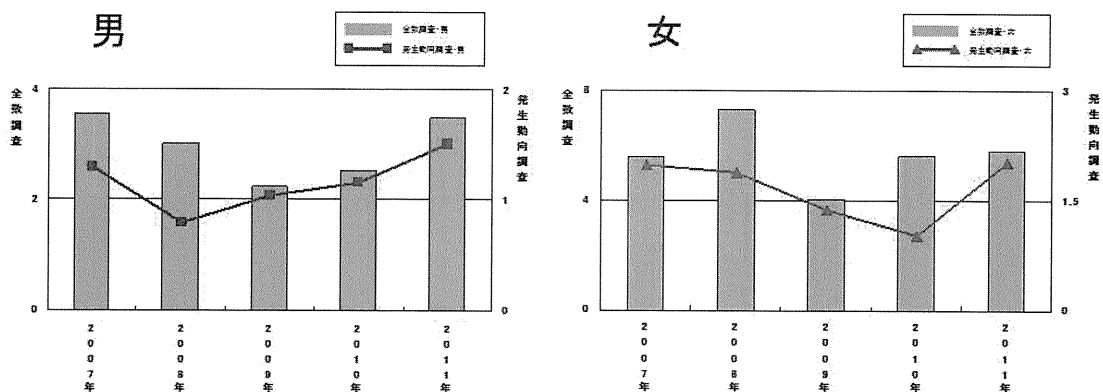


図29 性器クラミジア感染症(妊婦健診)千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

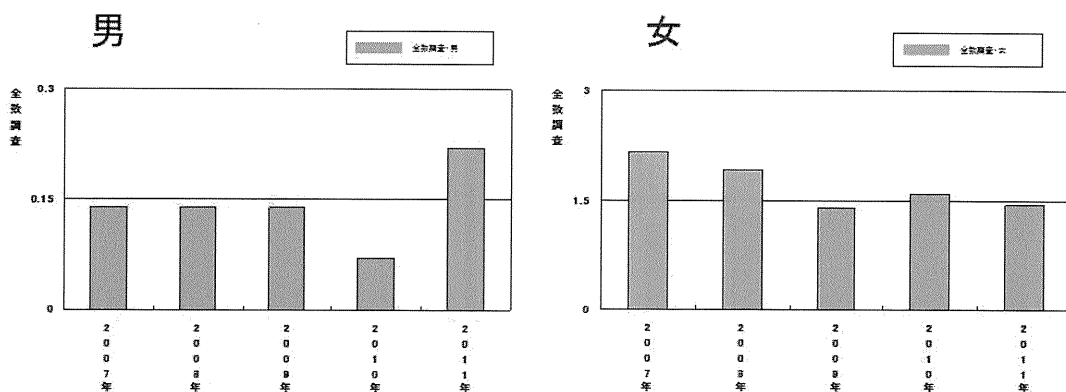


図30 咽頭クラミジア感染症 千葉県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

千葉県

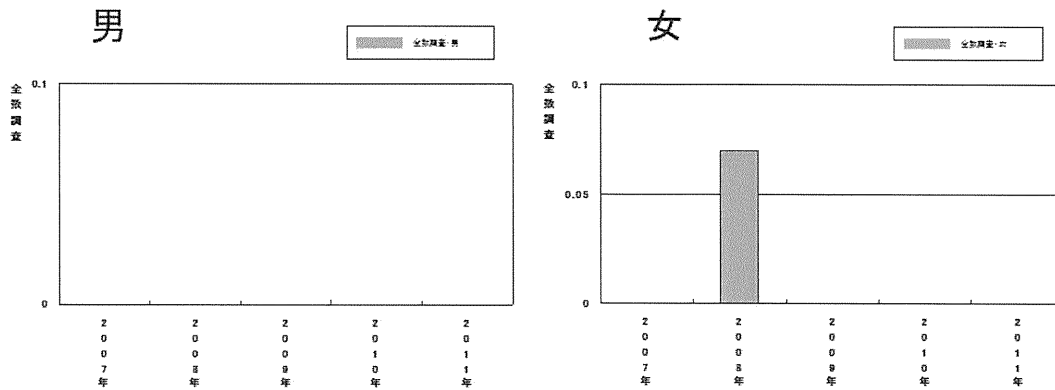


図31 梅毒 岐阜県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

岐阜県

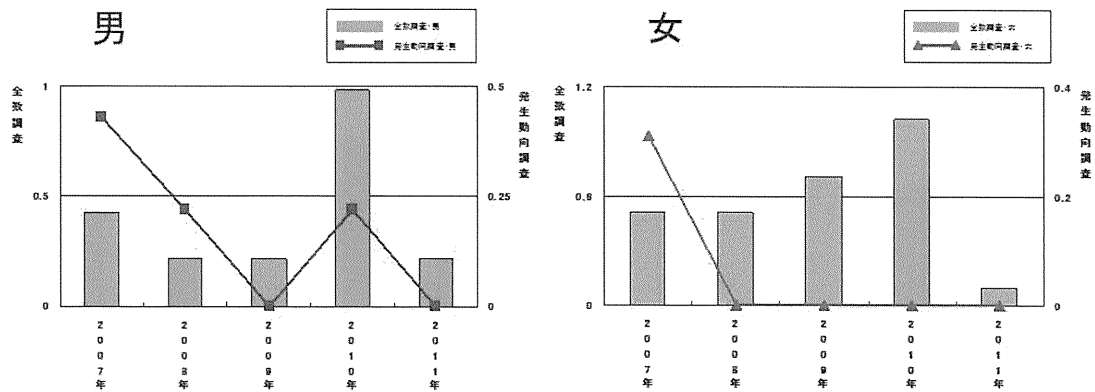


図32 淋菌感染症 岐阜県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

岐阜県

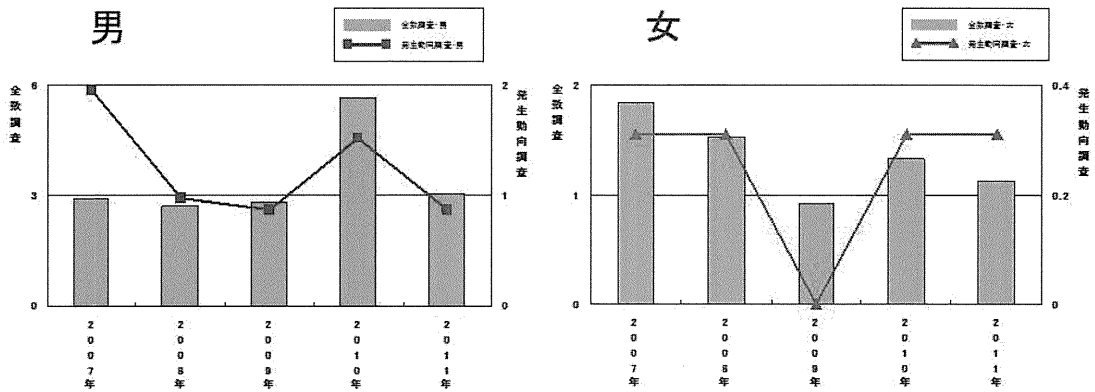


図33 咽頭淋菌感染症 岐阜県
全数調査と発生動向調査の比較(2007-2011)

※全体
※人口10万人あたり

岐阜県

